

新しい「管更生工法SRCTⅢ」の開発について

～老朽化の激しい「屋外排水管」も短時間にリニューアル～

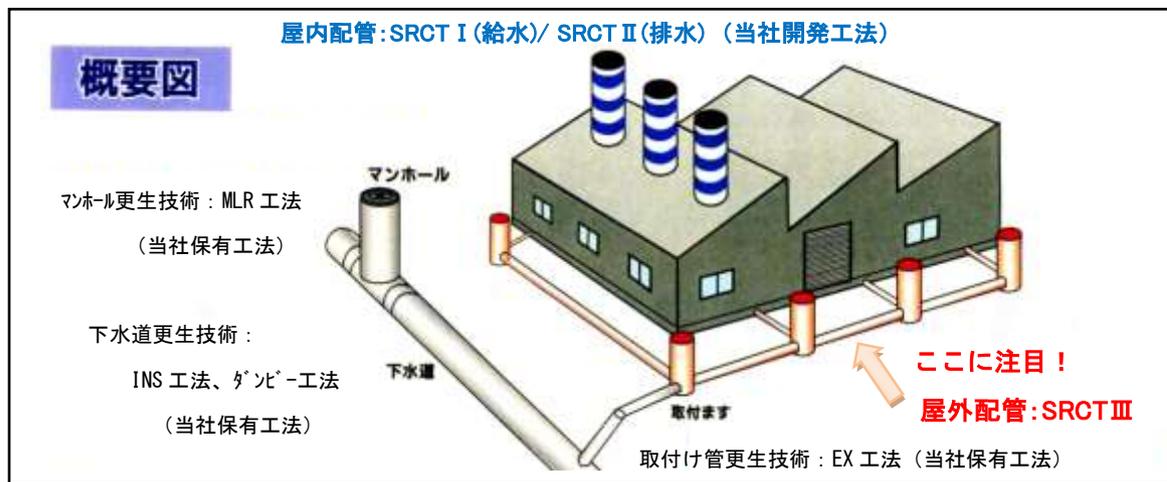
今まで見過ごされてきた「屋外」も更生ニーズが高まっています。
当社は、SRCT 工法 10 年間の実績で新分野開拓にチャレンジします！

1 概要

今般、熱や薬品に強く、柔軟性に優れた「管更生工法 SRCTⅢ」を開発いたしました。
この「SRCTⅢ」は、現有の「SRCTⅠ・Ⅱ」の樹脂吸引ライニング時における塗膜厚の不安定さを改善するため、化学繊維に樹脂を含浸した筒状の更生材を開発することにより、厚みと平滑性を格段に向上させた工法です。

本工法の開発により、屋内の給排水管から屋外排水設備を通して、公共下水道管までの一貫した管更生システムを構築することが可能となりました。

今後は長年培って来た当社SRCTⅠ・Ⅱ工法のノウハウを活かし、屋外排水管対象の「SRCTⅢ工法」を営業展開いたします。



2 SRCTⅢ更生材の特性

- ① 更生母材の化学繊維は樹脂吸収力が優れているため、均一な含浸が可能となり、品質の高い更生材を製作できます。
- ② 柔軟性が高く、既設管の曲り部に密着しやすいため、更生時の皺の発生を抑制します。
- ③ 高温、耐薬品性に優れており、工場排水にも適合しています。
- ④ 更生材は軽く取り扱いも容易で、わずか2mほどの水頭圧で管に密着させることができます。
- ⑤ 使用樹脂は常温硬化するため、他の熱源、エネルギーが必要ありません。

3 SRCT I・IIとSRCTⅢとの比較

	SRCT I・II	SRCTⅢ
【断面図】		
①用途	屋内給排水管 (φ 15～φ 100)	屋外排水管 (φ 100～φ 200)
②構造体	既設管+樹脂による単一構造	既設管+樹脂含浸繊維による2層構造
③更生方法	吸引式による塗布ライニング	引込式によるシートライニング
④更生厚	0.6mm 以上	1.2mm 以上
⑤既設管の亀裂	0.5mm 未満	0.5mm 以上
⑥更生材の強度	樹脂強度のみ	化学繊維の引張強度(2060N/mm ²)

4 SRCTⅢ工法の特長

- ①水密性の向上：継手のない一本の管を形成するため、ジョイント部の漏水等が無い。
- ②工期が短い：非開削により、同日復旧通水が可能。
(桝から桝までの既設管を1日で更生)
- ③適用管径の拡大：φ 100～φ 200mm の口径に対応。
- ④省エネ工法：既設管の中に更生材を常温硬化させるため、温室効果ガス及び廃棄物の発生がほぼゼロ。
- ⑤高い安全性：重機械類を必要としないので、作業事故のリスクが低い。
- ⑥コストの削減：開削での布設替工法と比較して約 50%のコストダウン。

5 仕様

- ①口径：100 mm～200 mm
- ②施工延長：最大 30m (1 スパン)
- ③厚さ：1.2 mm 以上
- ④耐圧性能：0.3MPa (水道管常圧程度) 以内
- ⑤耐薬品性：JSWAS K-2 による耐薬品試験において質量変化率が±0.3% 以内

6 今後の展開

当社は、平成 17 年以來これまでに全国で総延長 22,000 メートルの給排水管を更生してきた実績があり、昨年その成果が評価され、新潟県より『ゴールド技術』の認定を受けております。

今後、SRCT工法協会ともタイアップし「屋内の給排水管から屋外排水設備まで」一貫した管更生システムとして営業展開を行い、工場やマンション等を中心に受注の拡大を目指してまいります。尚、特許については、現在、出願中であります。

以上

【問い合わせ先】 株式会社 植木組 事業推進部 (村山)
TEL 0257-23-2205